

## 岩手県金融経済概況（平成 26 年 1 月）

### 1. 概 況

県内経済は、回復しており、このところ消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。

最終需要動向をみると、個人消費は、底堅く推移している。公共投資は、増加テンポを強めている。民間設備投資は、増加している。住宅投資は、大幅に増加している。生産は、緩やかに持直しており、雇用、所得環境は、改善している。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

百貨店売上高（1 月）は、僅かながら前年割れとなった。

スーパー売上高（12 月；全店舗ベース）は、前年を上回った。

新車登録台数（1 月）は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要や新車投入効果もあって、前年比増加幅を拡大した。

#### (2) 建設投資（公共投資、設備投資、住宅投資）

公共投資は、震災復旧復興関連工事を主体に増加テンポを強めている。

—— 生産・流通基盤整備等震災復旧関連工事に加えて、復興関連工事（災害公営住宅建築工事、地区整地工事等）も目立っている。

民間設備投資（2013 年度計画；短観ベース）は、震災復旧投資の一服等から前年を下回る計画ながら、個別には、製造業で需要回復を眺めて能力増強投資を積み増す動きがみられているほか、非製造業でも震災復旧復興需要の増加等を反映して、年度計画の増額修正を行う先が目立っている。

住宅投資（新設住宅着工戸数；12 月）は、高水準の前年対比で倍増となった。

県内官民建設工事全体の出来高（建設総合統計；12 月）は、高水準であった前年

を大幅に上回って推移している。

### 3. 生産動向

生産は、月次の振れはあるものの、均してみれば緩やかに持ち直している。

—— 2013年第4四半期の県内鉱工業生産指数（季節調整済指数）では、内外需要の増加を反映して、はん用・生産用・業務用機械、鉄鋼、化学等多くの業種で前期比プラスとなった（全体でも前期比+1.0%となった）。

### 4. 雇用、所得動向

雇用情勢は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値；12月）は、1.11倍となった（2013年5月以降8ヵ月連続して1.00倍以上となった）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；12月）は、2013年9月以降4ヵ月連続で直近ピークを更新した。

この間、名目賃金指数（11月）は、前年対比でプラスに転化した。

こうした状況下、雇用者所得（県内合計値；11月）は、前年を上回った。

### 5. 企業倒産

企業倒産（1月）は、6件、5.9億円であった（件数は増加した一方、金額は前年を下回った）。

### 6. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金は、前年を上回って推移している。貸出も前年を上回っている。貸出約定平均金利は、低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>